

花いっぱい夢いっぱい

安佐南区花いっぱい運動

第3回

発行：安佐南区役所区政振興課（Tel.082-831-4926）

製作協力：花いっぱい運動スタッフ

発行年月：平成19年(2007年)11月

秋号

春の花づくり講習会を開催！

今年の春！ボランティアスタッフを中心に、身近な花づくりの実演と講習を兼ねた『花づくり講習会』を開催し、昨年を上回る79名の方に参加して頂き大盛況でした。

今回も、①花壇の世話を楽しく続けていくために、種から苗を育てる技術をはじめ花づくりのノウハウを習得してもらうこと、②他の花壇協力者と花づくりの情報交換をしてもらうことを目的に開催しました。

講師には、日頃からお世話いただいている、ボランティアスタッフにお願いし、体験談を交えながら、花壇づくりを楽しみながら続けられる秘訣などを教えていただきました。

日時：平成19年5月24日（木）10:00～12:00
場所：牛田総合公園内ナチュラルライフセンター
講習内容：『種から育てた苗の植替え』
講師：運動スタッフ 谷川輝男さん
：『挿し芽の実演』
講師：運動スタッフ 森川数夫さん
：『情報交換会』



【種から育てた苗の植替え】講師 谷川さん



【挿し芽の実演】講師 森川さん



東原第1公園の花壇：東原三丁目
『地域への社会貢献を』ということから、この運動をご紹介したところ、今年の5月から、意欲満々で取りくまれています。公園の入口にある花壇ですので皆さん、ぜひ一度！足を運んでください。
有限会社HANABUSA

講習会後のアンケートでの質問あれこれ

講習会后、皆様から頂きました花作りのご質問について、ボランティアスタッフから回答を頂きましたので、ご紹介します。

Q1. 挿し木の際に、発根するまでの日数は、どの程度を目安としたらよいですか？

A：5月・6月に挿し木をしたものは、3週間が目安です。4月、9月、10月は、1ヶ月必要です。2週間位たってから、葉の色（わき芽）を観察していれば、発根しているか判ります。

Q2. 定植の要領をくわしく教えてください。

A：プランタンへ植える場合は、はじめに土を作ります。園芸用土を入れたらいいと思います。石灰と粒状の化成肥料を大さじ2杯づつまき、用土と混ぜ合わせます。これは定植する1週間前にします。苗は、ポットから取り出し、根を崩さずにプランタンに約25cm間隔で植えます。（苗の根元が白いのが良く、茶色になっているのはダメです。）
植え終わると、茎の周りの土を軽く抑え、底からあふれ出るくらいまで水をたっぷりやります。土の隙間をなくし、根と土を密着させるためです。沢山植えすぎると、成長した時に枝葉が重なり合って風通しが悪くなり、育ちが良くないです。注意することは、それぞれ性質に合った場所に置くことです。

Q3. 苗の移植後の手入れの仕方

A：ポットに移植後は水をやり、2,3日は日を置く。置く場所は、ナメクジ、ダンゴ虫等の害虫に、やられないような高台の置くこと。ポットを入れる容器は、発砲スチロール箱に水抜き穴をあけ、新聞紙を敷き、少し鹿沼土を1cmぐらい入れて水をまき、その上へポットを置きます。そして、ナメクジ駆除剤を数粒、鹿沼土の上へ置きます。2、3日して日当りの良い高台に置き、苗がしっかりしてきたら、暖効性の肥料を与えます。水は土の表面が乾いたらやります。ポットの底穴から、白い根が出てきたら定植します。アブラ虫の駆除をすること。

Q4. 花付きを良くする工夫

A：①その花に適した土作りをする。
②置き場所は、日光を好むもの、日陰を好むものと考えて置く。
③枯れた花はつむこと。
④定植時、間隔をあけて植えること。
⑤枯れた花はすぐ切り取り、風当たりを良くすること。
⑥暖効性の肥料をやり、液肥は月2,3回与える。
⑦アブラ虫、ヨトウ虫駆除にオルトラン粒剤をやる。
⑧水やりは、乾いたらやる。草花の下から葉の裏側を十分やる。（羽ダニ予防のため）
⑨繁りすぎると上3分の1か、または半分ぐらいのところから、バッサリ切ります。
3週間もすると、前より元気な花が咲きます。